

日本の経済協力への一視点・・・バングラデシュを事例として・・・

1、バングラデシュという国

- ① 独立 1971年 独立時人口：7500万人、現在1億5千万人（世界7位）
- ② 五つの特徴 インド、インド、インド、平ら平ら平ら、水水水、乾き乾き乾き
人人人
- ③ 経済成長と稼ぎ頭 年平均6%、縫製業、出稼ぎ、薬、陶器、皮革製品、小規模船
造船、ジュート製品、ソフト産業、
- ④ 宗教・言語 ムスリム大多数、しかし、ヒンズー教徒1200万人、仏教徒200万
人、キリスト教徒50万人、重層的文化構造、ベンガル語（国際母語の日）
- ⑤ イメージ 貧困と災害（洪水、サイクロン、伝染病等） 気候変動最前線にある国
- ⑥ 政治体制 選挙による内閣 5年にいっぺんの総選挙 いつも政権交代
- ⑦ 対日関係 大親日国 経済援助・経済交流・人的交流

2、 経済協力自問自答 何故、何を、誰が、誰と、どの程度、どのように、何時まで、等

- ① 何故 人道上、政治外交的観点、地域の安定性、貿易・直接投資の対象国
- ② 何を インフラ整備（橋、鉄道、灌漑、電力、肥料等）、社会開発支援（保健、教育
礎素、サイクロンシェルター、気象レーダー等）、NGO支援
（かつてグラミンも）、人材育成（留学生、研究者、JICA専門家、
AOTS専門家）、ガバナンス（警察、公務員など）等。

これだけか？文化は？（例えば、盆栽、例えば演劇（米百票））。経済の新しい芽の開発は？ジュート、ソフト、造船。洋服デザイン等

協力をどうビジネスに生かしていくか？雇用創出は？

気候変動、環境対応はどう組み込むか？

- ③ 誰が 日本政府、JICA、大学、NGO、（民間企業の教育訓練力）
- ④ 誰と 相手国政府、他国政府、援助機関（世界銀行、アジア開発銀行等）、大学、
新規ドナー（例えばイスラム開発銀行、クエートファンド等）との関係をど
う考えるか？
地域協力は（特に 水、電力、運輸セクター）

- ④ どの程度 、どのように、何時まで

これらは評価にかかわる部分。下地のある優良相手は安心着実。しかし固定化の恐れは無い
か？変化するニーズにどう的確に対応していくか？

点から線、線から面を相手側においても国内においてもどのように構築していくか？

日本が築き上げた社会システムというソフトをどう売り込むか？